

ス イ ス

Swiss Confederation

	2014年	2015年	2016年
①人口:842万人(2016年末暫定)			
②面積:4万1,285km ²			
③1人当たりGDP:7万9,242米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	2.0	0.8	1.3
⑤消費者物価上昇率(%)	0.0	△1.1	△0.4
⑥失業率(%)	3.0	3.2	3.3
⑦貿易収支(100万スイス・フラン)	29,753	36,527	36,931
⑧経常収支(100万スイス・フラン)	56,602	74,386	69,503
⑨外貨準備高(グロス) (100万米ドル)	505,463	566,960	640,594
⑩対外債務残高(グロス) (100万スイス・フラン)	1,630,841	1,668,097	1,721,336
⑪為替レート(1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均)	0.9153	0.9626	0.9850

〔出所〕 ①②⑤:スイス連邦統計局、③⑨:IMF、④⑥:スイス連邦経済省経済事務局、⑦⑧⑩⑪:スイス国立銀行

2016年のスイス経済は設備投資の増加や好調な化学・医薬品輸出に支えられ、実質GDP成長率は1.3%であった。輸出は化学・医薬品の牽引により過去最高額を記録した。直接投資は、中国資本によるスイス企業買収が過去最高額となった。対日輸出も医薬品が貢献し大きく増加した。また、日本企業によるスイス企業買収案件が目立った。

■ 内需と貿易に支えられた「緩やかな成長」

2016年のスイスの実質GDP成長率は設備投資と輸出に支えられ1.3%を記録した。スイス国立銀行によるスイス・フラン(CHF)の対ユーロ上限撤廃による通貨高(スイス・フラン・ショック)や新興国の景気停滞により0.8%と減速した前年から、1%台まで回復した。需要項目別にみると、民間最終消費支出は前年比1.2%増、政府最終消費支出は1.9%増と前年同水準であった一方、設備投資が4.1%増と大幅に増加した。業種別では、前年度に減少した製造業が2.4%増を記録し、スイス・フラン・ショックからの回復の兆しが見られる。製造業と並んで為替レートの影響を受けやすい外食・ホテル産業も減少幅が縮小した。ヘルスケア・社会福祉支出並びに好調だった輸出が成長を牽引した。

連邦経済省経済事務局(SECO)は、2017年6月20日に発表した経済予測で、内需と貿易黒字が成長に寄与するとして2017年の成長率を1.4%、2018年の成長率を1.9%とした。好調さを維持する化学・医薬品産業のほかにも、2015年以来不振が続く機械・電機・金属(MEM)産業や時計産業が再び成長することが期待される。大企業が通貨高を克服しつつある一方、多くの中小企業は引き

表1 スイスの需要項目別実質GDP成長率

	2015年	2016年					2017年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	0.8	1.3	0.3	0.5	0.0	0.2	0.3
民間最終消費支出	1.0	1.2	0.6	0.1	0.1	0.9	0.1
政府最終消費支出	2.2	1.9	0.6	0.5	0.1	0.9	0.4
国内総固定資本形成	1.6	2.4	1.6	0.0	0.3	△0.4	1.2
財貨・サービスの輸出	2.2	4.5	△4.3	5.4	0.6	3.1	△7.0
財貨・サービスの輸入	4.3	2.8	△0.4	△2.6	△1.4	4.6	△3.6

〔注〕 四半期の伸び率は前期比(季節調整値)。

〔出所〕 スイス連邦経済省経済事務局(SECO)

続き価格競争力低下やマージン縮小圧力に苦しんでいる。スイス機械・電機・金属工業会(SWISSMEM)の調査によれば、46%のMEM関連企業が今後3年以内の工場国外移転を検討中と回答したことをみても、利益確保のため、製品や生産工程の改善や、生産コストの削減が急務となっている。輸出志向型のスイス経済にとって、輸出先市場の景気と為替レートの安定が重要だが、とりわけ全輸出の半数近くを占めるEU、中でもユーロ圏の景気回復は好影響をもたらす。失業率は2017年が3.2%、2018年が3.1%と予測され、国外への移転が進む生産部門よりも国内では研究開発や事業管理人材の需要増が見込まれている。

■ 化学・医薬品の牽引により輸出は好調

2016年の輸出額は前年比2.6%減と不振であった2015年から一転、3.7%増の2,104億7,300万フランと過去最高額を記録した。輸入も4.3%増の1,735億4,200万CHFで、貿易収支は369億3,100万CHFの黒字となった。

輸出はスイス・フラン・ショックの通貨高の影響で減少した2015年から、大きな回復を見せた。品目別で見ると、最大の輸出品目である化学品(構成比44.8%)が11.3%増と成長を牽引した一方、機械および電気・電子機器(14.8%)は3.0%減と前年に続き伸び悩んだ。精密機械・時計・装身具(21.5%)も3.0%減となった。その中でも時計(9.2%)は高級時計の需要減退により、9.9%減と前年より減少幅が拡大、2009年以来の大幅な落ち込みを記録した。スイス時計協会は、通貨高、テロなどの影響による観光客減少で、ドイツ、フランス、イタリアなどの主要輸

出先での購入が低迷、中国政府の公務員に対する俸給で贅沢品の買い控えが起きたことのほか、消費者嗜好の変化も影響していると分析する。時計関連下請け企業も好調な医療機器分野へと事業の多角化を図る動きが目立つ。精密機械の輸出は前年の1.7%減から3.9%増とプラスに転じており、今後も成長が見込まれる。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先である EU 向け(構成比 53.7%)は前年比 3.7%増加した。米国向け(15.0%)は医薬品輸出増により 14.7%増と大きく伸びた。アジア大洋州向け(17.6%)は日本(3.5%)が 14.2%増と中国(4.7%)が 10.1%増と大きく伸びた。一方で、時計の不振により香港向け(2.3%)が 15.5%減となり、全体では 1.8%増にとどまった。

輸入は、通貨高による価格押し下げで金額が減少した前年から増加に転じた。品目別にみると、増加分の 7 割は化学品(構成比 25.1%)によるもので、なかでも医薬品(18.7%)の輸入が 16.8%増と大幅に増加した。輸送機器(11.0%)は 13.0%増加したが、これは長距離航空機としてボーイング 777-300ER の 9 機購入によるもので、航空機(1.8%)は 3 倍増となった。乗用車についてはスイス自動車輸入協会によると、2016 年の新車登録台数は前年比 2.0%減の 31 万 7,318 台であった。通貨高により国内販売店が値下げを行い輸入が急伸した前年からの反動とみられるが、輸入金額は 0.7%増であった。一方で、アクセサリ・装身具(5.6%)の 2.9%減により、精密機械・時計・装身具(12.1%)は 0.2%増にとどまった。また、原油・石油製品(2.5%)が石油価格の低下により 21.0%減少した影響で、燃料・エネルギー(3.9%)は 19.8%減と大幅に減少した。

輸入を国・地域別にみると、最大の輸入相手の EU(構

表 2 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万 CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品	84,685	94,277	44.8	11.3	38,769	43,627	25.1	12.5
医薬品	70,338	80,343	38.2	14.2	27,789	32,458	18.7	16.8
精密機械・時計・装身具	46,741	45,344	21.5	△3.0	20,916	20,953	12.1	0.2
時計	21,535	19,407	9.2	△9.9	3,847	3,863	2.2	0.4
精密機械	14,442	14,999	7.1	3.9	7,105	7,413	4.3	4.3
アクセサリ・装身具	10,764	10,939	5.2	1.6	9,964	9,678	5.6	△2.9
機械および電気・電子機器	31,056	31,080	14.8	0.1	28,481	28,653	16.5	0.6
産業用機械	18,635	18,467	8.8	△0.9	10,903	11,096	6.4	1.8
電気・電子機器	10,215	10,384	4.9	1.7	10,499	10,487	6.0	△0.1
金属製品	11,794	12,114	5.8	2.7	12,887	12,997	7.5	0.8
農・林・水産業製品	9,032	9,297	4.4	2.9	13,309	13,699	7.9	2.9
食品・飲料・たばこ	8,125	8,355	4.0	2.8	9,846	10,132	5.8	2.9
輸送用機器	5,870	5,087	2.4	△13.3	16,878	19,080	11.0	13.0
燃料・エネルギー	2,562	1,829	0.9	△28.6	8,448	6,776	3.9	△19.8
電力	2,031	1,385	0.7	△31.8	1,798	1,531	0.9	△14.9
原油・石油製品	522	433	0.2	△17.1	5,519	4,363	2.5	△21.0
合計(その他含む)	202,919	210,473	100.0	3.7	166,392	173,542	100.0	4.3

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品(加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの)含まない。

[出所] スイス連邦関税局

表 3 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万 CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	108,976	113,008	53.7	3.7	120,511	124,538	71.8	3.3
ユーロ圏	89,117	93,386	44.4	4.8	106,068	110,078	63.4	3.8
ドイツ	36,649	39,571	18.8	8.0	46,981	48,604	28.0	3.5
フランス	13,895	14,009	6.7	0.8	13,319	13,385	7.7	0.5
イタリア	12,812	12,504	5.9	△2.4	16,094	16,795	9.7	4.4
非ユーロ圏	19,859	19,622	9.3	△1.2	14,442	14,460	8.3	0.1
英国	11,682	11,432	5.4	△2.1	6,554	6,395	3.7	△2.4
アジア大洋州	36,417	37,087	17.6	1.8	24,611	25,215	14.5	2.5
中国	8,955	9,863	4.7	10.1	12,346	12,284	7.1	△0.5
日本	6,371	7,273	3.5	14.2	3,084	3,116	1.8	1.0
ASEAN	6,744	6,591	3.1	△2.3	4,654	5,258	3.0	13.0
香港	5,740	4,852	2.3	△15.5	1,366	1,132	0.7	△17.1
韓国	2,665	2,786	1.3	4.5	625	807	0.5	29.2
インド	1,791	1,619	0.8	△9.6	1,256	1,281	0.7	2.0
ベトナム	554	541	0.3	△2.4	964	1,467	0.8	52.2
米国	27,440	31,477	15.0	14.7	11,650	14,245	8.2	22.3
ロシア	2,167	2,010	1.0	△7.3	324	371	0.2	14.3
ブラジル	2,049	1,910	0.9	△6.8	776	610	0.4	△21.4
メキシコ	1,445	1,346	0.6	△6.9	1,096	729	0.4	△33.5
合計(その他含む)	202,919	210,473	100.0	3.7	166,392	173,542	100.0	4.3

[注] ①貴金属・宝石、芸術品、骨董品(加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの)含まない。

②アジア大洋州は ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

[出所] スイス連邦関税局

成比 71.8%)から 3.3%増となった。特にドイツ(28.0%)からの輸入が 3.5%増と 5 年ぶりに増加に転じた。北米(8.6%)からは 22.6%増、アジア大洋州(14.5%)からは 2.5%増であった。一般消費財の輸入増によりベトナム(0.8%)から 52.2%増と伸びたほか、韓国(0.5%)からの輸入も 29.2%増と増加した。他方で中国(7.1%)からの輸入は 0.5%減と 2002 年以来初めて減少に転じた。

■ 対内直接投資は中国企業による M&A が過去最高に

2015 年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)の合計は 677 億 5,200 万 CHF、対外直接投資は 1,000 億 9,500 万 CHF でいずれも前年から大きく伸びた。

経済紙ハンデルスツァイトウングの M&A 特集(2017年1月19日付)によれば、2016年は世界的な超低金利政策の継続で潤沢な資金調達ができる環境の中、M&A が活発化した。スイスへの対内直接投資では、中国企業によるスイス企業の買収が大幅に増加した。中国化工集団による農業化学大手のシンジェンタの買収合意(2016年2月、完了は2017年6月)が最大の案件だった。そのほか、海航集団(HNAグループ)傘下の海南航空親会社による機内食サービスのゲートグループ買収(2016年12月)や、海航集団によるフランスのプライベート資本管理会社 PAI パートナーズからの空港ロジスティクス大手スイスポートインターナショナルの買収(2016年2月)など、中国企業のスイスでの買収事例が目立った。また、カナダのコットコーポレーションがミネラルウォーター給水システムのエデンスプリングスを、スウェーデンの EQT パートナーズが旅行会社のクオニをそれぞれ買収した(2016年6月、同年11月)など、化学・医薬品や精密機械分野以外でスイスの技術やノウハウを買収する事例も多かった。2016年は英国の EU 離脱や米国大統領選による政治的な不透明感が増したことも、政治的に安定したスイスの企業への投資が増加した理由と考えられる。

スイスの対外投資は、スイスフラン高という有利な為替レートを背景に、海外での企業買収や再投資が行われた。

表5 スイスの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

	(単位:100万 CHF)			
	対内直接投資		対外直接投資	
	2014年 金額	2015年 金額	2014年 金額	2015年 金額
EU	17,282	54,876	7,441	79,474
ルクセンブルク	6,283	13,821	2,308	8,355
オーストリア	△721	3,723	705	191
ドイツ	△1,398	1,469	2,197	2,180
フランス	△1,468	633	△1,186	22,412
オランダ	4,885	8,591	10,662	15,399
英国	16,284	13,625	△8,683	△10,526
その他の欧州	△17,270	△3,938	△9,013	△2,922
北米	5,518	927	△2,289	6,096
米国	5,662	660	△4,912	7,717
中南米(オフショア地域含む)	2,212	20,465	△4,908	△6,873
アジア	n.a.	n.a.	9,976	12,629
日本	△41	518	△258	343
シンガポール	n.a.	n.a.	382	469
中国(香港含まず)	n.a.	n.a.	3,408	1,611
インド	n.a.	n.a.	480	766
大洋州	n.a.	n.a.	△2,477	8,700
合計(その他含む)	7,384	67,752	△968	100,095

〔注〕①2016年の国・地域別内訳は2017年8月時点で未発表。

②n.a.は非公表。

〔出所〕スイス国立銀行

表4 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

	FTA	発効日	(単位:%)		
			スイスの貿易に占める構成比(2016年)		
			往復	輸出	輸入
発効済み	EU	1973年1月1日	61.9	53.7	71.8
	中国	2014年7月1日	5.8	4.7	7.1
	日本	2009年9月1日	2.7	3.5	1.8
	香港	2012年10月1日	1.6	2.3	0.7
	湾岸協力会議(GCC)諸国	2014年7月1日	2.2	3.4	0.8
	シンガポール	2003年1月1日	1.3	1.6	1.0
	カナダ	2009年7月1日	1.1	1.6	0.4
	トルコ	1992年4月1日	0.8	0.8	0.8
	韓国	2006年9月1日	0.9	1.3	0.5
	メキシコ	2001年7月1日	0.5	0.6	0.4
	EFTA	1960年5月3日	0.3	0.3	0.2
	合計		79.0	73.8	85.5
	署名済み	フィリピン	2016年4月28日署名	0.1	0.2
ジョージア		2016年6月27日署名	0.0	0.0	0.0
交渉中	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	—	0.7	1.1	0.4
	インド	—	0.8	0.8	0.7
	タイ	—	0.5	0.5	0.5
	マレーシア	—	0.3	0.4	0.3
	ベトナム	—	0.5	0.3	0.8
	インドネシア	—	0.2	0.2	0.2
	アルジェリア	—	0.1	0.2	0.0
	エクアドル	—	0.1	0.1	0.0
	南米南部共同市場(メルコスール)	—	0.9	1.3	0.4
	FTAカバー率(署名済み/交渉中含む)		83.2	78.7	88.9

〔注〕①EFTA:ノルウェー、アイスランドのみ計上(リヒテンシュタイン含まず)。

②以下20カ国・地域ともFTA発効済み。イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ自治区、モロッコ、マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟(SACU:ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、スワジランド)、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米2カ国(パナマ、コスタリカ)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(協定締結順)。

③南米南部共同市場は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ。

〔出所〕スイス連邦経済省経済事務局(SECO)「FTA一覧」、スイス連邦関税局貿易統計

医薬品、ハイテク機器、保険・金融など幅広い分野でスイス企業による買収事例があった。医薬品分野では、ガレニカによる米国のレプリサ買収(2016年9月)、ロンザによる米国インターヘルスニュートラシュティカルズ買収(2016年9月)、ノバルティスによる米国セルクシスファーマシュ

表6 スイスの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

	(単位:100万 CHF)			
	対内直接投資		対外直接投資	
	2014年 金額	2015年 金額	2014年 金額	2015年 金額
製造業	3,824	13,219	26,854	11,998
電子・光学・時計等	4,492	5,524	5,825	△1,100
金属・機械	275	617	3,244	△124
化学・プラスチック	841	6,995	15,991	70
その他産業・建設	△1,784	83	4,562	12,602
繊維・アパレル	0	0	△2,767	550
サービス	3,560	54,533	△27,822	88,097
商業	△6,585	12,694	△24,872	26,599
運輸・情報	700	△816	△817	3,061
保険	907	63	6,941	7,086
銀行	4,556	△2,626	△7,009	△2,416
その他サービス	△1,187	1,669	△5,517	172
金融持株会社	5,168	43,548	3,453	53,595
合計(その他含む)	7,384	67,752	△968	100,095

〔注〕2016年の業種別内訳は2017年8月時点で未発表。

〔出所〕スイス国立銀行

表7 スイスの主な対内直接投資事例(2016年)

<M&A>

被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額 (ランクバリュー)	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
アグロケミカル	シンジェンタ	中国化工集団	中国	2017年6月	430億ドル	中国の国営化学コングロマリットによる農業・種子大手の買収。2016年2月に両社において買収が合意されたが、各国の独禁法の承認が遅れた。
空港ロジスティクス	スイスポートインターナショナル	HNAグループ(海南集団)	中国	2016年2月	27億3,000万CHF	2010年から同社を所有するフランスのプライベート資本管理PAIパートナーズが海航集団へ売却。
機内食サービス	ゲートグループ	HNAグループ(海南集団)	中国	2016年12月	19億1,778万ドル	海航集団(HNAグループ)傘下のLCCが機内食ほかケータリングサービスを行うゲートグループを買収。
旅行	クオニ	EQTパートナーズ	スウェーデン	2016年11月	13億9,214万CHF	投資会社EQTが株式公開買い付け(TOB)を実施しクオニトラベルの全株式を取得し同社を買収。
金融	クレディスイス	TSSP	米国	2016年5月	12億7,000万ドル	クレディスイスグループはディストレスト債資産を投資会社TPG傘下の部門TSSPに売却。
食品	エデンスプリングス	コットコーポレーション	カナダ	2016年6月	5億2,500万ドル	飲料サプライヤーのコットによるミネラルウォーター給水システムで欧州No.1のエデンスの買収。
機械	SFC ケーニック	アイデックス	米国	2016年7月	2億1,700万ユーロ	ポンプ、流量計など医療・化粧品業界向けの製品を販売する米国のアイデックスがSFC ケーニックを買収。
半導体	マイクロナス	TDK	日本	2016年3月	2億1,400万CHF	TDKが半導体および関連品を製造するマイクロナスを公開買付。磁気センサー事業の拡大を目指す。
樹脂製品	トレフ	ノラト AB	スウェーデン	2016年10月	約4,900万ドル	医療分野で樹脂成型品を製造するノラトが医療・産業分野プラスチック製品メーカーのトレフを買収。
ホテル	ミラドルリゾート	冠城大通	中国	2016年4月	4,693万ドル	中国の不動産の冠城大通がボー州高級リゾートホテルのミラドルを買収。
医薬品	オキュラーテクノロジー	サンファーマシューティカルインダストリー	インド	2016年10月	4,000万ドル	後発医薬品を専門とするインドのサンファーマがドライアイ治療薬開発オキュラーテクノロジーを買収。
石油化学	マーキュリア	中国石油化工集団	中国	2016年1月	資本12%取得	中国化工集団傘下の中国石油化工集団が石油商社のマーキュリアへ経営参加、資本の12%を取得。
時計	フレデリック・コンスタン・ホールディング	シチズン時計	日本	2016年5月	非公開	高級時計メーカー、フレデリック・コンスタン・ホールディングの株式を100%取得する株式譲渡契約に合意。アルピナ、ドゥモナコ等同社のブランドがシチズンに加わる。
貴金属	メタロール	田中貴金属工業	日本	2016年7月	非公開	田中貴金属による貴金属の回収・精錬、表面処理などを行うメタロールの買収。
旅行	クオニ GTS	JTB	日本	2017年5月	非公開	JTBがクオニのグループ向けインバウンド事業「グローバル・トラベル・サービス(GTS)」部門について株式譲渡による買収を発表。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表8 スイスの主な対外直接投資事例(2016年)

<M&A>

買収企業		被買収企業(事業)		時期	投資額 (ランクバリュー)	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ガレニカ	バイオテクノロジー	レリプサ	米国	2016年9月	15億3,000万ドル	ガレニカは、買収により、ビジネスの一部門であるピフォアフェーマを強化。特に心腎症候群分野における米国市場の地位を固める。
ソノバホールディング	医療機器	オーディオノバイインターナショナル	オランダ	2016年9月	8億3,000万ユーロ	補聴器の世界リーダー、ソノバによるオーディオノバイ買収。同買収により、欧州市場を拡大。
TE コネクティブティ	電子機器	クレガナタクテックスメディカル	アイルランド	2016年4月	8億9,500万ドル	センサー等の電子機器を開発するTE コネクティブティは、カテーテルをはじめとする低侵襲デバイス製造販売のクレガナタクテックスを買収。医療機器分野に進出する。
ドルマカバホールディング	セキュリティシステム	スタンレーブラック&デッカー	米国	2017年2月	7億2,500万ドル	建物等へのスマートアクセスソリューション提供のドルマカバが電動工具製造スタンレーブラック&デッカーからメカニカルセキュリティ業務部門を買収。
ノバルティス	医薬品	セレクシスファーマシューティカル	米国	2016年11月	6億6,500万ドル	ノバルティスが血液疾患の治療薬を開発するセレクシスの買収。セレクシスの遺伝性血液疾患の治療薬「SelG1」の取得が目的。
チューリッヒ保険	保険	カバーモアグループ	オーストラリア	2017年4月	5億6,500万ドル	旅行保険分野でオーストラリア、インド、米国に市場を持つカバーモアグループの買収。
ジボダン	香水・香料	コナグラフーズ	米国	2016年7月	3億4,000万ドル	香料・香水のジボダンは、コナグラフーズからスパイス・フレーバーズ&シーズニングス事業を買収。同事業は北米でフレーバー、香辛料などの製造を行っている。
ロンザ	医薬品	インターヘルスニュートラシューティカルズ	米国	2016年9月	3億ドル	バイオテクノロジーのロンザがダイエットサプリメント用栄養成分の開発を行うインターヘルスニュートラシューティカルズを買収し、高付加価値のヘルスケア製品を強化。
スルザー	機械・装置	ゲカ	ドイツ	2016年8月	2億6,000万ユーロ	ポンプ機械装置のスルザーが化粧品包装システム開発ゲカを買収。
イメリスグラファイト&カーボン	カーボン素材	日本パワーグラファイト	日本	2017年1月	非公開	黒鉛、高導電カーボンブラック製造のイメリスがリチウムイオン電池専門の日本パワーグラファイトを買収。なお、イメリスは2015年、日本に電池用向けR&Dセンターを開設している。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表9 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015年		2016年			2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
化学・医薬品	2,809	3,566	49.0	27.0	乗用車	565	600	19.3	6.2
医薬品	2,552	3,293	45.3	29.0	精密機器・時計・宝飾品	829	822	26.4	△0.9
化学原材料	122	124	1.7	1.9	アクセサリー・宝飾品	573	529	17.0	△7.6
精密機器・時計・宝飾品	2,373	2,502	34.4	5.4	光学機器	81	92	2.9	13.7
腕時計	1,228	1,190	16.4	△3.1	腕時計	50	70	2.2	40.5
アクセサリー・宝飾品	474	602	8.3	27.2	医療機器	55	64	2.1	16.2
医療機器	473	499	6.9	5.5	化学・医薬品	739	726	23.3	△1.8
検査・計測機器	91	110	1.5	21.7	医薬品	464	459	14.7	△1.0
機械・設備・電子機器	549	535	7.4	△2.5	化学原材料	153	136	4.4	△11.1
一般機械	355	324	4.5	△8.8	機械・設備・電子機器	615	615	19.7	0.1
電子機器	109	116	1.6	6.4	一般機械	265	249	8.0	△6.0
農林水産品	340	320	4.4	△5.8	電子機器	176	165	5.3	△6.1
たばこ	179	159	2.2	△11.2	建設機械	61	58	1.9	△4.9
飲料	105	102	1.4	△3.0	オフィス機器	36	50	1.6	39.9
合計(その他含む)	6,371	7,273	100.0	14.2	合計(その他含む)	3,084	3,116	100.0	1.0

[注] 貴金属・宝石、技術品、骨董品等の取引は含まない。

[出所] スイス連邦関税局データから作成

ティカル買収(2016年11月)など、自社製品の多様化や高付加価値製品の強化を狙った企業買収が目立った。

■ 対日輸出は大幅増、輸入も4年ぶりに増加

スイスにとって日本はEU、米国、中国に次ぐ4番目の輸出相手国であり、スイスの輸出全体の3.5%を占める。2016年の対日貿易は、輸出が前年比14.2%増の72億7,300万CHF、輸入が1.0%増の31億1,600万CHF。貿易黒字は41億5,700万CHFへ拡大し、前年より8億7,000万CHF増加した。

対日輸出では、化学・医薬品(構成比49.0%)が前年比27.0%増となった。特に医薬品(45.3%)が19.0%増と大幅な増加を示した。精密機器・時計・宝飾品(34.4%)はアクセサリー・宝飾品(8.3%)が27.2%増、検査・計測機器(1.5%)が21.7%増、医療機器(6.9%)も5.5%増となったが、5.4%増にとどまった。腕時計(16.4%)が日本での中国人旅行者の「爆買い」が失速したことなどで3.1%減少したことが影響した。前年不調であった電子機器(1.6%)がスイスフラン高にも関わらず6.4%増と増加に転じた一方で、前年8.2%増の一般機械(4.5%)は8.8%減となったため、機械・設備・電子機器(7.4%)は2.5%減となった。

対日輸入は1.0%増と4年ぶりに増加に転じた。乗用車(構成比19.3%)は前年の4.4%減から6.2%増となった。光学機器(2.9%)は13.7%増、腕時計(2.2%)は40.5%増、医療機器(2.1%)は16.2%増と好調であったが、アクセサリー・宝飾品(17.0%)が7.6%減となったため、精密機器・時計・宝飾品(26.4%)は0.9%の微減となった。オフィス機器(1.6%)は39.9%増と伸長したが、一般機械(8.0%)、電子機器(5.3%)、建設機械(1.9%)が軒並み減少となったため、機械・設備・電子機器(19.7%)は

0.1%増とほぼ横ばいにとどまった。

日本企業による対スイス直接投資額も増加した。シチズン時計による高級時計メーカーのフレデリック・コンスタン・ホールディングの買収(2016年5月)、田中貴金属工業による貴金属精錬のメタローテクノロジーズの買収(2016年7月)のほか、JTBがクオニのインバウンド事業を所管する「グローバル・トラベル・サービス(GTS)」部門の買収を発表した(2017年5月)。

さらに、日東電工による化学メーカーのノラックスのカーテンエアバッグ向け機能性フィルム事業買収(2016年7月)、NTTデータによるIT関連コンサルティングのネフォス買収(2016年9月)、電通によるデジタルトランスフォーメーションを業務とするブルーインフィニティの買収(2017年1月)、三井物産による硫黄・硫酸販売のケムトレードアグロビスの買収(2017年3月)なども発表されている。

スイス企業による対日直接投資では、電池やエンジニアリング材料としての黒鉛とカーボンを製造するイメリスグラフアイト&カーボンによる日本パワーグラフアイトの買収(2017年1月)があった。また、シリコン製キーパッドのサテコが東京にサービス拠点(2016年)を、電子ビーム機器のイービーム・テクノロジーズが横浜に研究拠点(2017年2月)をそれぞれ設立した。